

## 【横綱柏戸と橘ノ圓】

柏戸関とは同じ山形出身という事で知り合ったんですか？

「俺が二ツ目の扇馬（せんば）だった頃、ラジオやTVに出ててちょこっと稼いでたんだよ」

「そこに山形から相撲取りになりに来た奴がいるっていうんで、“おい富樫（柏戸の本名）ちょっとメシ連れてってやるよ”って言って、その時に“お前十両になったら化粧廻し作ってやっからな”と言っちゃった」

「そしたら、あいつすぐ十両になっちゃってさ（笑）当時30数万したから今だと300万以上だろうなあ。。。」

「そんな金持ってないからさ、方々鬘肩を回って“相変わらず大風呂敷広げちゃいまして”と言って頭下げて回ったんだよ」

で、集まったんですか？

「集まったなんてもんじゃないよ！集まり過ぎちゃってさあ、俺の紋付の着物まで作っちゃった（笑）」

「それ以来、俺の事“兄貴、兄貴”って呼んでくれて、遠いのに埼玉八潮のこの店にも何回も来てくれたんだよ」

「大阪の俺の仕事と大阪場所が重なった時なんかは、ミナミで松鶴さんと呑んで、“これから横綱が来ますから”って言ったら“お前なんかの為に横綱が来るわけがない”と言われたんだけど、“兄貴お待たせ”って富樫が来た時には松鶴さん目をキョトンとさせてたね（笑）」

「最期引退する時には、他にたくさん持ってるだろうに、俺の贈ったもうボロボロになった黒い廻し締めてくれてさ。本当にいい奴だったよ」

第47代横綱柏戸剛、本名富樫剛との思い出を語ってくれた。



取材・文：東西竜虎会世話人 高巢昌信

『上方百撰』

<http://www.manhole.jp/kamigata>